



# 11月の園だより

令和6年11月1日

目黒区立八雲保育園 園長

## ～成長を喜び合える瞬間の保育～

先月には昨年に続いて八雲小学校校庭をお借りして運動会を開催しました。約350人というたくさんの方みなさまにご来場をいただいて子どもたちの笑顔があふれる会となりました。当日は、晴天に恵まれる一方で暑さが心配でしたが、すべてのプログラムを終えて帰宅される方々は「とても楽しい時間でした」「子どもたちの元気な姿を見られて良かったです」と、とても満足そうな表情でした。保護者のみなさまからは「今年初めて参加をして0歳児という小さな子どもがどのようなことをするかと思いましたが、我が子が喜んで参加をする姿が見られたり、大きいクラスの競技も観ることができたりと保育園の運動会の“楽しさ”を知ることができました」「今年は、小学生向けの競技もあって家族みんなで最後まで楽しく参加ができました」などの感想も聞くことができご家族で子どもたちの成長を喜び合える大切な時間となったことをうれしく感じます。また、数年前より連絡ノートがICT化になったことで、職員全員が同じタイミングで保護者のみなさまの声を確認できるようになり、より早く保育に反映できるようになったことも大きいと感じています。子どもたちの“運動会”はまだまだ続いていて人気の「パイナポー体操」は、園内の色々な場所から聞こえてくるほどです。行事は最終目標ではなく、日々の保育の途中にあることを子どもたちの姿を通して感じていただければと思います。後半期の保育参観や個人面談も始まっていますので是非、ご参加をお待ちしております。

### 11月の行事予定

芋汁会 (3、4、5歳児)  
 歯科検診 (全園児)  
 交通安全教室 (3、4、5歳児)  
 内科健診 (全園児)  
 身体計測 避難訓練

### 12月の行事予定

わくわく発表会 (3、4、5歳児)  
 5歳児クラス懇談会  
 身体計測 避難訓練

いた!

保育士がアリを指さしながら「アリいた!」と言うと、頭を片手でコツンコツン叩きながら「いたい いたい」と言っていました。(0歳)



ある日の夕方

急に雷が鳴り始め、みんなで窓から空を見ていました。

A:「見て、雷なってる。けど怖くないよ」

保:「えっ、先生おへそ隠しとこう・・・(Tシャツをズボンにしまう)」

B:「こわいの?」

保:「おへそとられちゃったら嫌だからさ・・・」しばらくすると、クラスのほとんどの子がTシャツをズボンにしまっていました。(3歳)

子どもたちの

おつくさま



## おもしろエピソード

お月さまに見立てた(ゆで卵)のうどんが昼食に出た日、「お月さまみただね」と知らせると「ママと見たあ」と思い出して話してくれます。スライスされたゆで卵がちぎれてしまうと、「おつくさま、いたいたい」と言っかわいそうに思ったのか食べませんでした。他のごはんはもりもりと食べていました。(1歳)

カブの芽が出てきたプランターの隣に小松菜の種を植えました。部屋に戻ってから「カブと小松菜の種、仲良くお話ししてるかな～」とつぶやいていました。(2歳)

なかよし





# 楽しかった運動会



## ぺんぎん組（3歳児クラス）

～実は！あの草むらは…～

「ぺんぎん探検隊」では無事、みんな卵を見つけて運ぶことができました。実は、探検隊が卵を探していたあの草むらは、子どもたちと一緒に作ったものでした。「長い葉っぱにしようかな」「大きくなないと卵が見えちゃうね」と話しながら自分たちで紙をちぎって、段ボールに貼っていきました。できあがり卵を隠してみると「うわ、ジャングルみたい」「卵見えないね」とすごく嬉しそうでした。

これからも自分で作ってできた喜びや、どうやって遊ぶかわくわくする気持ちに共感しながら、たくさん一緒に楽しんでいきたいと思えます。



## いるか組（4歳児クラス）

～しろくま組みたいでしょ～

好きな競技に自由に参加して楽しむ“運動会ごっこ”の日。「縄跳びを貸してください」と短縄を貸してもらい、得意そうに縄を折り畳んでポーズを取ってスタンバイしています。縄で色々な形を作るところでは、しろくま組の友達に手伝ってもらいながら張り切って演技をしていました。

数日後、園庭では「見ててね」と走りながら短縄を跳んだり回したりし、園庭をぐるりと1周していました。「しろくまさんみたいだね」と保育士が声をかけると、周りにいた友達も次々と同じように縄を回しながらジャンプしたり走ったり、憧れのしろくま組になりきって気分はすっかり“しろくまさん”でした。運動会の取り組みを通じて自信がつき、ひとまわり大きくなった子どもたちです。



## しろくま組（5歳児クラス）

～まだまだつづくよ どこまでも～

運動会ギリギリまで走者順を考え合ったりリレーは、ドラマいっぱいの勝負となりました。実は、当日勝利した青チームが黄チームに勝ったのは初めてのことでした。退場後「勝って嬉しいのに涙が出てくる」と青チーム、負けてしまった黄チームは悔しそうな表情を浮かべながらも「また作戦考えよう」と声を掛け合う姿がありました。

運動会後も引き続きリレーを楽しんでいるしろくま組。作戦を考えたことを積み重ねてきた中で、自分は何が出来るか、チームとして勝つためにはどうすれば良いかを考えられるようになってきました。思いがぶつかり合いながらも共に考え合う楽しさを感じたり、勝敗による様々な気持ちを仲間同士で共感したりと、たくさんのがが学べる集団遊びをこれからも楽しみ、仲間関係を深めていきます。

